

殺虫剤防除例	月	旬	対象病虫害	効果のある薬剤	散布濃度	注意事項
	定植前		センチュウ類	ガスタード(微粒)	20~30kg/10a	鎮圧散水(ガス抜き最低2回)
				ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	
	4		コガネムシ幼虫	ダイアジノンSLゾル	25~50倍	
				ダズバン粒剤	9kg/10a	
	4		ツツジグンバイ・アブラムシ	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	モスピラン水溶2000倍も有効
	5	中	ツツジグンバイ	アドマイヤーフロアブル	2000倍	
			ツツジグンバイ	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	
	6	中	ツツジグンバイ・ハマキ	モスピラン水溶剤	2000倍	
	7	中	ベニモンアオリンガ	オルトラン水和剤	1500倍	グンバイにも効果有り
上		コガネムシ幼虫	アクタラ粒剤5	9kg/10a		
8	中	ツツジグンバイ・ハマキ	ダントツ水溶剤	2000倍		
		ハダニ	バロックフロアブル	2000倍		
9	中	ツツジグンバイ・ハマキ	スミチオン乳剤	1000倍		
		コガネムシ幼虫	ガゼット粒剤	9kg/10a		

登録殺菌例	薬剤名	効果	散布濃度	適用病害
	トップジンM水和剤	予防治療効果	1500倍	褐斑病
	Zボルドー	予防効果	500倍	もち病
	トリフミン水和剤	予防治療効果・浸透性	3000倍	樹木(うどんこ病)広範囲病害に効果有り
	バシタック水和剤75	病斑進展阻止効果	1000倍	もち病
	マネージ乳剤	予防治療効果	1000倍	樹木(うどんこ病)
	ベルコート水和剤	予防効果	1000倍	炭疽病

## 1年生植出し

(施用量:10a当り)

施肥時期	肥料名(例)	施肥量
元肥	3月	ハイフミン持号 300kg
	3月	ようりん 120kg クドゲン(粒) 100kg 又は マルチサポート1号 100kg
		4月
春肥	5月~6月	なたね粕 (ロング使用の場合は施用せず) 120kg
秋肥	9月下旬	クドゲン(粒) 100kg

## 2年目~3年目

(施用量:10a当り)

施肥時期	施肥例1		施肥例2	
	肥料名(例)	施肥量	肥料名(例)	施肥量
春	3月上旬	なたね粕 <5.3-2-1> 100kg	花木LP配合 <10-6-6>	120kg
	4月上旬	有機化成マイルド <9-6-6> 80kg		
肥	5月上旬	花木LP配合 <10-6-6> 120kg		
	5月中旬	クドゲン(粒) 80kg	IB化成S1 <10-10-10> 120kg クドゲン(粒) 80kg	
秋肥	9月下旬~ 10月中旬	IB化成S1 <10-10-10> 80kg	IBジュニア <8-6-4> 80kg	

○平戸・クルメツツジについては、上記施肥基準より、少なく施肥して下さい。

- 上記の病虫害防除は、基準的なものであり、年によって病虫害の発生時期が異なる場合がありますので、その時期にあった防除をおこなって下さい。
- 同一薬剤の連続散布は、病虫害の抵抗力を発達させる恐れがあり、同じ薬剤の連用は避け、ローテーション散布を心がけて下さい。
- 6月~9月の期間は、病虫害発生が著しいため、15~20日間隔の防除をおこなって下さい。

## 農薬使用留意事項

- 使用前には、ラベルをよく読んで下さい。
- 農薬は安全基準を守って使用して下さい。
- 防除時には近接作物への飛散に十分注意しましょう。
- 防除時には、必ず専用の防除衣・マスクなどを着用しましょう。
- 農薬は幼児の手の届く所には置かないで下さい。

◎JAで土壌診断を行い、施肥の合理化を図りましょう。